

「2025年度京葉人材育成講座」開設科目及び日程表※確定版「日程・会場等は予定です。受講料は税込み（10％）金額です。」

※ Aコース (中核オペレーター早期育成) / Sコース (マネジメント層※リーダークラス含む能力強化)

※新規追加・変更修正科目

科目名		概要	対象者	講座日程※予定			講師
No	タイトル			開催形式・会場	定員/回	受講料	
A 1	安全感性向上講座	「プラントにおける危険」の疑似体験、目視体験により、危険予知能力や危険に対する感受性を磨き、安全感性を向上する。また、グループ討議で、チームミーティングやグループ活動等のコツを学ぶ。 体験・体感を中心に、危険に対する感性向上をピンポイントに目指した現場体験型講座 ※今年度から、A/Bコースに体験項目を分割し、各コース1日×2日完結コースとしていますが、1コース毎の受講も可能です。 Aコース（1日）※約10項目 体験1：滑り・転倒、重量物の落下、腰痛防止 体験2：小配管、安全弁作動、ピンホール 体験3：静電気爆発・フレイムアレスター、薬傷（残圧飛散） 体験4：ドレン詰まり貫通 グループ討議：事例討議 Bコース（1日）※約10項目 体験1：液封、バキューム 体験2：挟まれ巻き込まれ（3種目） 体験3：ラダー昇降、墜落制止用器具（宙吊り体験・脚立転倒体験） 体験4：水蒸気爆発・粉塵燃焼体験 グループ討議：事例討議	①Aコース（1日） ②Bコース（1日） ・入社3年までの若手オペレーター ・安全体験未経験者 ・過去に当安全体験講座の受講経験のない方 〔※現在、オペレーターではない、スタッフの方も受講可能です。〕	A／B（各1日）×2コース 9：00～16：00（予定） ①1-A 2025年6月13日(金) ②1-B 2025年6月17日(火) ③2-A 2025年6月23日(月) ④2-B 2025年6月26日(木) ⑤3-A 2025年7月1日(火) ⑥3-B 2025年7月8日(火) ⑦4-A 2025年7月16日(水) ⑧4-B 2025年7月17日(木) ⑨5-A 2025年10月16日(木) ⑩5-B 2025年10月24日(金) ⑪6-A 2025年10月29日(水) ⑫6-B 2025年10月30日(木) ⑬7-A 2025年11月6日(木) ⑭7-B 2025年11月12日(水) ⑮8-A 2025年11月14日(金) ⑯8-B 2025年11月17日(月) ⑰9-A 2025年12月5日(金) ⑱9-B 2025年12月8日(月) ⑲10-A 2026年1月19日(月) ⑳10-B 2026年1月20日(火) ※1コースずつの受講可			・企業OB講師 （京葉人材育成会登録講師）
				対面型 出光興産㈱安全・技術研修センター	12名	A/Bコース受講 66,000円／名 AorB1コースのみ 33,000円／名	
A 2	製造現場トレーナーの育成	自律的な思考・行動能力を育成するため、LEGO®SERIOUS PLAY®メソッドやゲーミングシミュレーションによる実習も取り入れた、画期的な現場教育理論を体得する。	・入社4年以上の中級オペレーター ・製造現場のトレーナー	2日連続コース 9：00～16：00（予定） ①2025年7月24日(木)・25日(金) ②2026年2月26日(木)・27日(金)			・下田 篤 氏 （千葉工業大学教授） ・加藤 和彦氏 （千葉工業大学教授） ・田隈 広紀 氏 （千葉工業大学教授）
				対面型 出光興産㈱安全・技術研修センター	12名	全8コマ 51,700円／名	
A 3 +	プラントの保安と故障の早期発見 計装機器・回転機器のトラブル対応	プラントの故障、劣化の要因について講義、及び、受講生同士の討論を通じて学び、異常の早期発見が出来る設備に強いオペレーターを育成する。この講座では、計装機器・回転機器にテーマを絞るそのトラブル対応について学習する。 ※今年度から、計装（1日）・回転（1日）の2日コースの変更しました。 ※1コースずつの受講も可能です。	・入社4年以上の中級オペレーター ・設備部門の初級～中級担当者	計装／回転（各1日）×2コース 9：30～16：00（予定） ①1-計装 2025年8月25日(月) ②1-回転 2025年8月26日(火) ③2-計装 2025年9月25日(木) ④2-回転 2025年9月26日(金) ⑤3-計装 2025年10月21日(火) ⑥3-回転 2025年10月22日(水) ⑦4-計装 2025年11月26日(水) ⑧4-回転 2025年11月27日(木) ⑨5-計装 2026年1月26日(月) ⑩5-回転 2026年1月27日(火) ※1コースずつの受講可			・計装機器 出光興産㈱千葉事業所OB講師 ・回転機器 三井化学㈱市原工場現役講師
				対面型 出光興産㈱安全・技術研修センター	12名	計装/回転コース受講 66,000円／名 計装or回転1コースのみ 33,000円／名	
A 4	チームリーダーの育成	チームで課題発掘、解決することにより、能動的自己学習、応用力、創造性等を培うための能力を身につける。	・入社11年以上の上級オペレーター ・シフトリーダークラス ・リーダー候補の方	3日連続コース 9：15～16：00（予定） ①2025年9月10日(水)～12日(金) ②2025年9月17日(水)～19日(金) ③2026年2月4日(水)～6日(金) ④2026年2月18日(水)～20日(金)			・市川 洋子 氏 （敬愛大学教授） ・谷山 大三郎 氏 （千葉大学特別研究員） ・土田 雄一 氏 （敬愛大学教授）
				対面型 出光興産㈱安全・技術研修センター	12名	全12コマ 77,550円／名	
				※上限2名／回、企業			
A 4 +	円滑なチーム運営力育成講座	人間関係力とコミュニケーション能力を向上することで、自分らしいリーダーシップを身に付けて、円滑なチーム運営に長けたリーダーを育成する。	・入社11年以上の上級オペレーター ・シフトリーダークラス ・リーダー候補の方	1日コース 9：10～16：00（予定） ①2025年5月28日(水) ②2025年7月2日(水) ③2025年10月1日(水) ④2025年11月5日(水) ⑤2026年1月28日(水)			・土田 雄一 氏 （敬愛大学教授） ・谷山 大三郎 氏 （千葉大学特別研究員）
				対面型 出光興産㈱安全・技術研修センター	12名	全4コマ 25,850円／名	
A 5	製造現場の安全と責任 対面型	企業の社会的責任の認識を深め、非常時や大規模災害時に適切な行動がとれる様な知識の習得をし、討論を交えて、高度な安全体制を築くことが出来るリーダーを養成する。工場長等の安全講話で締めくくる。 ※今年度は、①②を対面型開催、③④をオンライン開催とします。	・シフトリーダークラス ・職場の安全担当	2日連続コース 9：00～16：00（予定） ①2025年9月4日(木)・5日(金) ②2025年10月9日(木)・10日(金)			・企業OB講師 （京葉人材育成会登録講師）
	製造現場の安全と責任 オンライン			2日連続コース 9：00～16：00（予定） ③2025年12月17日(水)・18日(木) ④2026年1月22日(木)・23日(金)			
				on-line(Teams)	12名	全9コマ 51,700円／名	
S 4	これからの安全と現場の管理職の役割	経営者と運転者の中間にあって、多くの業務が集まり決断を迫られる立場にあり、安全の要となる現場の管理職に、今必要とされている化学プラントの安全管理とリスクについて考え、管理職の役割と責任について、理解を深めてもらいます。 企業・業種の壁を越えて集まった現場や安全部門の管理者層が意見交換することで、相互のレベルアップを目指します。 ※今年度から1コース(半日)を4コースで完結する内容に変更しました。 ※1コースずつでも受講できるように構成しています。 パート1：製造現場の変化と技術継承 パート2：リスクアセスメントは機能しているか パート3：これからの安全マネジメント パート4：化学プラントと安全文化	・製造現場や安全環境部門等の部課長・ライン長クラス、技術スタッフ、管理的立場の方	半日×4コース 13：00～16：30（予定） ※①-1～4、日程変更となりました。 ①-1 2025年6月3日(火) ①-2 2025年6月10日(火) ①-3 2025年6月17日(火) ①-4 2025年6月24日(火) ②-1 2026年2月10日(火) ②-2 2026年2月17日(火) ②-3 2026年2月24日(火) ②-4 2026年3月3日(火) ※1コースずつ受講可			・中村 昌允 氏 （京葉人材育成会会長）
				on-line(Teams)	15名	全4コース 103,400円／名 ※1コース受講の場合 25,850円／名	
S スペシャル	これからの安全マネジメントを考える会	・石油化学業界は大きな変革期にきている。一つは製造現場の変化である。二つは、カーボンニュートラルなどの社会環境の変化である。一方、従来からの汎用製品では国際競争力で中国やインドに立ち向かえなくなり、Specialty分野の移行が必須になっている。新たな開発技術を安全を確保して製造可能にすること、それが各事業所長に課せられた大きな使命であり責任がある。 ・そこで問われることは、「経営と安全とのバランス」をどのように考えるかである。経営資源が無限にあれば、すべての事故を無くすることができるかもしれないが、現実にはそんなことはありえない。このバランスをどのように考えるか、日本と欧米との安全に対する考え方の違いも考慮し、これからの安全マネジメントを考える。 ・コンビナートの石油精製・化学系各企業のトップ層が、企業・業種の壁を越えて意見交換することで、日本の石油・化学産業の生き残りを考えたい。	・石油・化学産業の事業所長・製油所長、または、副所長・副工場長等 ・安全環境部長、製造部長等役員クラス	半日コース 13：30～16：00（予定） ①2026年2月13日(金)			・中村 昌允 氏 （京葉人材育成会会長）
				対面型 出光興産㈱安全・技術研修センター	15名	全2～3コマ 25,850円／名	

※ NA・NSコース/AC(協力会社)コース その1				※新規追加・変更修正科目				
科目名		概要	対象者	講座日程※予定			講師	
No	タイトル			場所	定員/回	受講料		
NA1	製造現場のオペレーターに必要な設備管理講座	・製造現場における保安管理は、運転管理と設備管理の両輪があってこそ成立つが、設備管理業務は、安全・安定運転に向けた業務遂行上極めて重要となり、製造現場のオペレーターには、運転に係るオペレーション技術のみならず設備管理知識が求められている。 ・本講座では、運転部門の方が必要とされる設備管理知識を学び、設備に強いオペレーターを目指していただく。 ・設備管理、保安管理とは何かを理解し、運転部門における設備管理とはどの様に管理するべきか、事例等を踏まえ理解し、職場での設備管理基盤強化に繋がるヒントを掴むことを目標とする。 ・グループ討論を通じて、他社の方々と他流試合・情報共有する。 コマ－1：設備管理・保安管理とは 設備管理（保安管理）の重要性と運転と保全との関りについての考え方を理解する。 グループ討論①：事故事例の検討 エチレンプラント工事中の火災事故事例について検討する。 コマ－2：保全業務（検査・工事）の進め方 一般的な保全業務の流れとその流れに沿って運転部門の方々がどのように関わっていくかを理解する。 コマ－3：外面腐食 外面腐食は装置・設備の廃棄まで継続して発生するため日々の点検や不具合状態を放置しないことが大切であること、腐食メカニズムを理解する。 コマ－4：工事安全確保 工事安全の確保には、工事環境を整えることが重要となる。工事安全確保のポイントを学び、事業所としての工事安全上の責任の重さを理解する。 グループ討論②：講座のふりかえりと情報交換 グループ討論③：講座のふりかえりと情報交換 本研修のふりかえり、今後職場で取り組んでいきたい事、設備管理で困っている事などを他の受講生と意見交換及び共有する。	製造現場のオペレーター ・製造現場での設備担当、班長クラス ・専門保全の新人～2、3年目	1日コース 9：00～16：00（予定） ①2025年6月19日(木) ②2025年10月17日(金) ③2025年11月28日(金)			・高橋 龍五 氏 (出光興産OB)	
				対面型 出光興産㈱安全・技術研修センター	12名	25,850円／名		
NA2	生産現場で知っておきたい腐食のしくみとその対策（体験講座）	本講座は腐食・金属材料・防食管理技術に関する基礎知識を修得し、技術レベルの向上を図る事を目的とする。 本講座の大きな特徴は、実験・技術相談を講義の中で実施することで、座学では、講師と受講者が双方に対話できる時間を多く設けている。 講義時間内で理論を理解し、実験・実習において受講者の方々に体感することにより、学ぶテーマに関して、より理解を深めることができる。また、現場で腐食に関して、困っている事や判らない事があれば講義の中で、できる限り議論する。 コマ－1 序論 ・金属材料と腐食の関わり・腐食はさけられるのか ・腐食損失・腐食防止の基本原理解 コマ－2 腐食のしくみ ・腐食のしくみのあらまし・乾食と湿食（実験） ・不動態とその破壊（実験）・腐食現象の観察（実験） ・腐食現象の観察（実験）・湿食とそのしくみ ・腐食によって流れる電流の観察（実験）・腐食現象の可視化（実験） ・電気化学反応の復習と湿食反応への適用 コマ－3 局部腐食と対策 ・局部腐食：通気差電池腐食 ・堆積物下の通気差による局部腐食（実験） ・局部腐食：酸塩基電池腐食・局部腐食：異種金属接触腐食 ・異種金属接触腐食（実験）・犠牲陽極方式による電気防食（実験） コマ－4 防食法とまとめ ・防食法の系統的考え方・腐食防食技術に取組みための心構え ・質疑応答	生産現場のオペレータ、スタッフ、設備担当、管理者 保全部門のスタッフ、管理者	1日コース 9：00～16：00（予定） ①2025年9月29日(月) ②2026年3月2日(月)			・朝倉 祝治 氏 (横浜国立大学名誉教授、 ㈱ベンチャー・アカデミア代表取締役、工学博士) ・稲木 倫道氏 (㈱ベンチャー・アカデミア、博士（工学）) ・岡本 守道氏 (㈱ベンチャー・アカデミア)	
				対面型 出光興産㈱安全・技術研修センター	20名	33,000円／名		
NA3	dss+社* PSM（プロセス安全管理）講座入門編	dss+社*によるプロセス安全管理システムの入門講座 *dss+社は、デュボンの安全コンサルティング部門が2019年に分離独立した会社です。 石油・化学プラントを始めとして製造業の工場や、化学品を取り扱う倉庫などでは、一旦火災や爆発、有毒物質の漏洩などの事故が発生すると、建物・設備や機械が失われるだけでなく、従業員や近隣住民がケガをしたり、最悪の場合にはその事故が原因となって施設の存続さえ危ぶまれる事態となる。 本セミナーでは安全なプロセスを維持するためには何をすべきかを学び、過去に発生したプロセス事故も参考にして、プロセス安全管理システムについて考える。 コマ1：セミナーの目的 ・進め方の確認、安全対話の紹介と実践 ・dss+社講師から、セミナーの目的、進め方、注意事項等をお伝えする。 安全対話についてご紹介し、その場で実践してみる。 コマ2：プロセス安全管理とは ・プロセス安全管理とは何か、なぜ必要か、を演習も実施しながら理解する。 コマ3：プロセス安全管理の14の要素 ・プロセス安全管理に必要な14の要素について一通り学ぶ。 コマ4：事故事例から学ぶプロセス安全 ・プロセス安全に関する事故事例を用い、プロセス安全管理要素についての理解を深める。	・運転部門の中核運転員 ・作業責任者、管理的立場の方、運転支援スタッフ ・安全管理部門の安全管理者、安全スタッフ ・設備管理部門でプラント設計・保全担当の管理職、技術者 ・研究開発部門で化学プロセス担当の管理職、研究開発者	1日コース 9：00～16：00（予定） ①2025年7月22日(火) ②2026年3月10日(火)			・dss+社専任講師	
				対面型 出光興産㈱安全・技術研修センター	20名	33,000円／名		
NS11	HAZOP（初級コース）オンライン	・これからHAZOP手法を使いたい人への教育 ・HAZOP手法が事故・トラブル未然防止手段の一つとして有効である事を教育する。 ・HAZOP手法を理解し、現場の安全活動の一つとして使えるように教育する。（HAZOPワークショップに参加、その席上で積極的に質問やコメントができる） ・実際の事故事例を引用してHAZOPスタディーの有効性を知る ※今年度は3コースはオンライン開催で、1コースのみ対面型開催とします。	・HAZOP手法の基本を学びたい人	1日コース 9：00～16：00（予定） ①2025年4月25日(金) ③2025年10月27日(月) ④2025年12月1日(月)			・上田 邦治 氏 (千代田化工建設)	
	on-line(Teams)			16名	25,850円／名			
	1日コース 9：00～16：00（予定） ②2025年7月14日(月)							
	HAZOP（初級コース）対面型	・現在HAZOP検討を行っている方のさらなる解析能力向上を図る ・HAZOP手法を会社の安全活動の一つとして定着させるための指導者を輩出する。 ・既設設備に対するHAZOPリーダーを担える人材を輩出する ・教材として実際に起こった事故事例を活用する ※今年度は2コースはオンライン開催で、1コースのみ対面型開催とします。	・HAZOP手法を社内でも活用する際のリーダー及び次期リーダー候補	2日（1日+1日）コース 9：00～16：00（予定） ①2025年5月26日(月)・6月30日(月) ③2025年12月15日(月)・2026年1月30日(金)			・上田 邦治 氏 (千代田化工建設)	
				on-line(Teams)	16名	51,700円／名		
	HAZOP（リーダーコース）対面型			2日（1日+1日）コース 9：00～16：00（予定） ②2025年9月16日(火)・10月20日(月)	対面型 出光興産㈱安全・技術研修センター	16名	51,700円／名	
NS12	HAZOP（リーダーコース）オンライン	・現在HAZOP検討を行っている方のさらなる解析能力向上を図る ・HAZOP手法を会社の安全活動の一つとして定着させるための指導者を輩出する。 ・既設設備に対するHAZOPリーダーを担える人材を輩出する ・教材として実際に起こった事故事例を活用する ※今年度は2コースはオンライン開催で、1コースのみ対面型開催とします。	・HAZOP手法を社内でも活用する際のリーダー及び次期リーダー候補	2日（1日+1日）コース 9：00～16：00（予定） ①2025年5月26日(月)・6月30日(月) ③2025年12月15日(月)・2026年1月30日(金)			・上田 邦治 氏 (千代田化工建設)	
	on-line(Teams)			16名	51,700円／名			
	HAZOP（リーダーコース）対面型	・現在HAZOP検討を行っている方のさらなる解析能力向上を図る ・HAZOP手法を会社の安全活動の一つとして定着させるための指導者を輩出する。 ・既設設備に対するHAZOPリーダーを担える人材を輩出する ・教材として実際に起こった事故事例を活用する ※今年度は2コースはオンライン開催で、1コースのみ対面型開催とします。	・HAZOP手法を社内でも活用する際のリーダー及び次期リーダー候補	2日（1日+1日）コース 9：00～16：00（予定） ①2025年5月26日(月)・6月30日(月) ③2025年12月15日(月)・2026年1月30日(金)			・上田 邦治 氏 (千代田化工建設)	
				on-line(Teams)	16名	51,700円／名		
NS2	技術者倫理	技術者の責任とは何か、実際に起こった事例の中での技術者の行動を紹介しながら、技術者倫理とは何かについて、一緒に考えてみたい。 <第1日> 1. 技術者倫理とは何か (1)技術者の社会的責任と倫理が問われた背景 (2)技術者のジレンマ (3)技術者の説明責任：化学物質の安全性 2. 技術者と経営者 (1)技術者の提案は、それが実用化されて、はじめて評価の対象になる。 具体的な事例からどうすれば技術者の提案が経営に採用されるか考える。 ～チャレンジャー号の爆発とシティコープビルの強度補強～ <第2日> 1. 企業不祥事と技術者の責任 事例を紹介し、あなたが当事者なら、どう判断し、行動するかを考える。 2. 技術者にとって最後の手段である内部告発をどう考えるか <第3日> 1. 福島原発事故から何を学ぶか 福島原発事故は私たちが経験した最も大きな事故である。技術者として、この事故から何を学び、今後に生かしていくか。 (1)なぜ、福島第一は致命的事故になったか？ (リスク評価方法、致命的事故への備え) (2)あなたが吉田所長であったならば、津波に対する防潮堤を築いたか？ (3)なぜ、日本社会は、緊急事態においても1mSVを求めたのか？ 2. どこまで安全を求めるか？ ～日本と欧米の安全の考え方の比較～ (1)工学システムの安全目標とリスクベースの安全管理 3. あなたは、日本の製造業の未来にどう貢献するか？	・生産技術系スタッフ、管理者層 (工場、会社) 安全教育担当	半日×3コース 13：00～16：30（予定） ①-1 2025年5月9日(金) ①-2 2025年5月30日(金) ①-3 2025年6月6日(金)			・中村 昌允 氏 (京葉人材育成会会長)	
				on-line(Teams)	10名	3コース 77,550円 ※1コース受講の場合 25,850円／コース		

※ NA・NSコース/AC(協力会社)コース その2

※新規追加・変更修正科目

科目名		概要	対象者	講座日程※予定			講師
No	タイトル			場所	定員/回	受講料／名	
NS3	物質安全の基礎	・取り扱い物質の安全に関する基礎知識不足が、事故原因の一つになっている。化学プラント事故事例をもとに、化学物質の安全に関する基礎知識を紹介する。 ※1日コースから半日コースへ変更になりました。 1. 燃焼の3要素（可燃性物質、支燃物質、着火源） 化学プラントでの爆発・火災事故を考える基本的知識 2. 危ない物質と危険性評価方法 (1)危ない化学構造とは何か (2)物質の分解開始温度： 実際の分解開始温度とDSC測定結果とでは差がある。 3. 静電気と粉塵爆発事故 (1)なぜ、静電気が発生するか？ (2)静電気事故事例と防止対策 (3)粉じん爆発事故事例と防止対策 4. 反応暴走と爆発事故 化学プラントは発熱量と除熱量とのバランスが崩れると液相温度が上昇し、その結果、反応速度・分解速度が速くなり、さらに、液相温度が上昇し、速度が速くなる。 この状態が続くと、遂には制御不能な反応状態となり、反応暴走に至る。 5. 重大事故で問われた物質安全 実際の重大事故を事例に、物質安全の課題を考える。 6. 化学プラントの安全に大きな影響を与えた事故 化学プラント2大事故（セベソ事故・ボパール事故）を物質安全の立場から考える	・生産技術系スタッフ、 管理者層 （工場、会社）安全教育担当	半日コース 13：00～16：30（予定） ①2025年5月13日(火) ②2025年11月20日(木)			・中村 昌允 氏 （京葉人材育成会会長）
				on-line(Teams)	10名	25,850円／コース	
ACC 出前1・2	工事協力会社 安全研修1・2	製造現場や作業場で安全に工事や作業を行うために必要な知識や、安全行動の基本であるKY等、受講側と一緒に学ぶ講座を実施します。 教育内容は受講希望企業と相談の上、以下の項目を組み合わせで3時間程度で実施します。 ※講座のねらい ・災害事例等を通じて化学プラントにおける工事安全のポイントを学ぶ ・工事を安全に行うための基本的な考え方や基本行動について再確認する ※プログラム例 ・工事災害事例の紹介と教訓 （保安防事故事例、労働災害事例、怖さを知らせる） ・構内安全基本事項 （走らない、勝手にバルブを触らない、基本保護具、他） ・KY・指差呼称 （KYボードを使った4RKY グループ演習） ・ヒューマンエラー防止 （ビデオ、ゲームの活用）など ・工事安全システム	1の対象者 工事協力会社の監督者	半日コース ※開催時間：約3時間の講座 ※開催日程は個別調整			・企業OB講師 （京葉人材育成会登録講師）
				対面型 申込企業が希望する場所 （出前研修）	10 20名	110,000円／開催	
			2の対象者 工事協力会社の棒心・作業員	半日コース ※開催時間：約3時間の講座 ※開催日程は個別調整			
				対面型 申込企業が希望する場所 （出前研修）	10 20名	110,000円／開催	
ACS	工事協力会社 トップ層と 工事発注事業所 保全管理者 安全教育 工事発注事業所の 保全部門の 管理者・担当者が 知っておくべき役割	化学プラントの安全は、発注者と協力会社との協力なくして確保できない。 ① 協力会社の労働災害の発生率が、発注者に比較して高い。 ② 協力会社は、危険・有害性の高い作業を担当することが多い。 ③ 協力会社の作業場所は、発注者の事業場構内であり、協力会社の自主的な努力のみでは、災害防止の実をあげられない。 1. 発注者と関係請負人との関係 2. 発注者の責任 (1)安全な作業環境、施工方法や工期等の条件を整える。 (2)危険性・有害性の情報提供、協力会社の安全を指導する。 3. 関係請負人の責任 (1)労働者の安全確保は、その労働者を雇用する事業者の事業者責任である。 (2)発注者の安全指導にしたがって作業者の安全を確保する。 4. 製造業元方指針 「一の場所」における統括管理体制 (1)同一の場所において、指揮命令系統の異なる労働者が混在して作業する際の危険防止 (2)元方事業者が、一元的に連絡調整等の安全衛生管理を行う統括管理体制 (3)工事の段取り調整・連絡 5. 化学設備の工事等に関して、発注者が講ずべき措置 6. 機械等を使用して作業させる場合の措置 (1)工事等の流れとリスクアセスメント（RA）を用いた安全衛生対策、工事安全措置のRA、工事施工方法のRA、工事ミーティング (2)関係請負人に課せられる安全措置 7. 安全管理指導と偽装請負との関係 8. 安全配慮義務	・工事協力会社等のトップ層 ・工事発注側の工事安全管理責任者	半日コース 13：30～16：00（予定） ①2025年6月12日(木) ②2025年10月3日(金)			・中村 昌允 氏 （京葉人材育成会会長）
				on-line(Teams)	10名	25,850円／名	

※ NNA・NNS ・CR 新規企画開催コース その1

※新規追加

科目名		概要	対象者	講座日程※予定			講師
No	タイトル			場所	定員/回	受講料／名	
NNA1	プロセストラブル体験講座	「プラントにおけるトラブル」の模擬体験・目視体験によりプロセスにおけるトラブルの危険性、措置対応力を高めることが出来る講座。過去に発生した重大事例もひも解きながら、プラントにおける各種トラブル事例、模擬体験設備を活用し、トラブル防止並びに措置対応ができるオペレーター、スタッフを育成する。 ※A／Bコース2コース（2日）完結するコースですが、1日ずつの受講も可能です。 Aコース（1日） 過去に発生した重大事例についてひも解く プロセス系トラブル体験（1）（可燃ガス爆発・溶剤火災・粉塵爆発・静電気体験） 電気系トラブル体験(感電・漏電) プロセス系トラブル体験（2）(液封・水撃・フランジ締結)・（3）(蒸留) ヒューマンファクタートラブル体験（指差呼称の有効性体験） Bコース（1日） 過去に発生した重大事例についてひも解く 動機械系トラブル体験（ポンプキャビテーション） 動機械・計装系トラブル体験(潤滑油、計装・調節弁) ヒューマンファクタートラブル体験（VR体験） プロセス系トラブル体験（5）（酸欠体験）・（6）（破裂体験）	・運転部門の中核運転員 ・作業責任者、管理的立場の方、運転支援スタッフ ・安全管理部門の安全管理者、安全スタッフ他	A／B（各1日）×2コース 9：00～16：00（予定） ①1-A 2025年6月5日(木) ②1-B 2025年6月6日(金) ③2-A 2025年9月8日(月) ④2-B 2025年10月15日(水) ⑤3-A 2026年1月14日(水) ⑥3-B 2026年1月16日(金) ※1コースずつの受講も可			・京葉人材育成会講師 ・企業講師
		対面型 出光興産㈱安全・技術研修センター		12名	A/Bコース受講 66,000円／名 AorB1コースのみ 33,000円／名		
NNA2	化学工学基礎	製造現場業務において化学工学の基礎的知識は必須となります。化学工学についての理解無くしては、適切なプラント運転はもちろんのこと、特に非定常運転、トラブル時対応を正しく対処対応することはできません。 適切な対応が出来るか否かによって、軽度な故障対応で済むか重大な事故故障につながるかが決まります。この講座は、化学工学知識により論理的な判断力を養成することでプロセス管理能力を高めていただくことを目標としています。 コマ1：化学工学基礎の基礎 コマ2：流動の基礎 コマ3：流体の基礎 コマ4：熱移動の基礎 コマ5：蒸留	・運転部門の運転員 ・運転支援スタッフ ・その他候補者、推薦者	1日コース 9：00～16：00（予定） ①2025年12月12日(金) ②2026年2月12日(木)			・企業講師
		対面型 出光興産㈱安全・技術研修センター		12名	33,000円／名		
NNA3	フランジ締結管理講座	製造現場におけるフランジ締結作業は、設備の安全性と信頼性を確保するために非常に重要です。適切なフランジ締結管理を行うことで、漏れや事故を防止し、設備の長寿命化を図ることができます。本講座では、明治屋のD-BOLVISシステムを活用し、フランジ締結作業に必要な知識と技術を習得し、現場での実践力を高めることを目的としています。 特に、協力会社社員は、自社内での教育は業務上不可欠であることより教育が確実に実施されているが、製造現場の従業員までの教育には至っていない状況を踏まえ、京葉人材育成会として、京葉臨海コンビナート地区の従業員並びに協力会社向けに特別教育を開催します。 コマ1 講座目的と概要、フランジ締結の基本概念と重要性、法規制とガイドライン コマ2 フランジ締結の基本技術と実践訓練	・運転部門の運転員 ・作業責任者、管理的立場の方、運転支援スタッフ ・安全管理部門の安全管理者、安全スタッフ ・保全担当の管理職、技術者 ・その他候補者、推薦者	半日コース 午前：9：00～12：00 午後：13：00～16：00 ①2025年9月1日(月)午前 ②2025年9月1日(月)午後 ③2025年12月3日(水)午前 ④2025年12月3日(水)午後			・京葉人材育成会講師 ・企業講師
		対面型 出光興産㈱安全・技術研修センター		8名	33,000円／名		
NNA4	墜落制止用器具特別教育講座	建設業等の高所作業において使用される胴ベルト型安全帯は、墜落時に内蔵の損傷や胸部等危険性が指摘されており、フルハーネス型安全帯が採用された。(2019.1.25) また、名称も「墜落制止用器具」に改められ使用するには特別教育が厚生労働省より義務付けられた。今までの胴ベルト型安全帯使用の猶予期間が2022年1月末までであり、翌2月1日より運用が開始された。 特に、協力会社社員は、自社内での教育は業務上不可欠であることより教育が確実に実施されているが、製造現場の従業員までの教育には至っていない状況を踏まえ、京葉人材育成会として、京葉臨海コンビナート地区の従業員並びに協力会社向けに特別教育を開催する コマ1 作業に関する知識 コマ2 墜落制止用器具(フルハーネス型のものに限る。以下同じ。)に関する知識 コマ3 労働災害の防止に関する知識 コマ4 関係法令 コマ5 墜落制止用器具の使用方法等	・運転部門の運転員 ・作業責任者、管理的立場の方、運転支援スタッフ ・安全管理部門の安全管理者、安全スタッフ ・保全担当の管理職、技術者 ・その他候補者、推薦者	1日コース 9：00～16：00（予定） ①2025年5月27日(火) ②2025年10月2日(木)			・企業講師
		対面型 出光興産㈱安全・技術研修センター		12名	8,800円／名		
NNA5	製造現場に必要なノンテクニカルスキル体験講座	製造現場では、技術的なスキルだけでなく、コミュニケーション、リーダーシップ、問題解決能力などのノンテクニカルスキルも重要です。特に近年これらのスキル欠如のより起こっている事故が散見され、行政、団体含めこのスキルスキル取得がチームの効率性や安全性を向上させ、全体的な生産性を高めるために不可欠であると認識されています。本講座では、製造現場の従業員がこれらのノンテクニカルスキルを習得し、実践できるよう支援します。 ①～④の4コースで完結する講座ですが、1コース毎の受講も可能です。 その1 ノンテクニカルスキルの基礎 思い込み防止教育、思い込み防止演習のやり方説明と演習 レゴ組み立て演習、レゴ組み立て演習の振り返りと意見交換 事故事例を題材に演習 まとめ、振り返り、質疑応答 その2 きまりを守る大切さ、きまりを守る演習、きまりを守る演習のやり方説明と演習 とっさの行動防止、とっさの行動防止演習、事故事例を題材に演習 まとめ、振り返り、質疑応答 その3 注意深くならう教育、注意力演習と注意力の自己判定、行動特性評価の成功への道 動物当てゲーム、動物当てゲームの振り返りと意見交換 事故事例を題材に演習 まとめ、振り返り、質疑応答 その4 (1日目) 言い出す勇氣教室、言い出す勇氣演習のやり方説明と演習 言い出す力と傾聴力の自己評価、まとめと振り返り (2日目) 危険敢行性と危険感受性について、危険敢行性と危険感受性の自己評価 危険敢行性と危険感受性の評価事例、危険敢行性の演習 まとめ、振り返り	・運転部門のシフトリーダークラス、職場の安全担当 ・作業責任者、管理的立場の方、運転支援スタッフ ・安全管理部門の安全管理者、安全スタッフ ・保全担当の管理職、技術者 ・その他候補者、推薦者	1日×3コース 9：00～16：00（予定） ①2025年5月14日(水) ※対面型 ②2025年6月18日(水) ※対面型 ③2025年7月23日(水) ※対面型 半日(午前)×2日（1コース） 9：00～12：00（予定） ④2025年7月28日(木)午前・29日(金)午前 ※オンライン ※1コースずつの受講も可			・南川 忠男 氏 （南川行動特性研究所代表）
		対面型 出光興産㈱安全・技術研修センター ④のみオンライン		12名	全4コース 132,000円／名 ※1コース受講の場合 33,000円／名		

※ NNA・NNS・CR 新規企画開催コース その2				※新規追加			
科目名		概要	対象者	講座日程※予定			講師
No	タイトル			場所	定員/回	受講料	
NNS1	事故調査報告書の読み方 ～重大事故から何を学ぶか～	・事故はしばしば起きるわけではない。まして重大事故に遭遇することは滅多にない。そこで、他社の事故情報を学ぶことは、安全担当者にとって貴重な情報源になる。しかし、事故調査報告書を読んでも、直接原因は判っても、事故の背景要因や安全管理上のポイントについては分かりにくいのが実情ではないだろうか。 ・そこで、事故調査報告書の読み解き方について、日本国内で発生した6つの重大事故調査報告書を下に、①事故の根本原因は何であったのか、②そこでの技術者の判断や行動は良かったのか等々について、講師とともに考え、今後の安全管理へ活かしていただく。 ※1コースずつの受講も可能です。ご興味のある項目の受講をご検討ください。 各開催回の検討事例※2024年度実施項目 ①塩ビモノマープラント製造設備爆発事故 ②レソルシン製造設備爆発事故 ③アクリル酸モノマータンク爆発事故 ④クロロシランポリマー熱交換器爆発事故 ⑤潤滑油プラント火災事故 ⑥粉塵爆発事故	・運転部門、生産技術系スタッフ、リーダー層、管理者層 ・安全管理部門の安全管理者、安全スタッフ他 ・研究・技術開発部門の技術者	半日×6コース 13：00～16：30（予定）			・中村 昌允 氏 （京葉人材育成会会長）
		on-line(Teams)		16名	全6コース 155,100円／名 ※1コース受講の場合 25,850円／名		
NNS21	リスクアセスメント オンライン	経営者と運転者の中間にあって、多くの業務が集まり決断を迫られる立場にあり、安全の要となる現場の管理職に、今必要とされている化学プラントの安全管理とリスクについて考え、管理職の役割と責任について、理解を深めてもらいます。 企業・業種の壁を越えて集まった現場や安全部門の管理者層が意見交換することで、相互のレベルアップを目指します。 ※今年度から1コース(半日)を4コースで完結する内容に変更しました。 ※1コースずつでも受講できるように構成しています。 パート1：製造現場の変化と技術継承 パート2：リスクアセスメントは機能しているか パート3：これからの安全マネジメント パート4：化学プラントと安全文化	・運転部門の中核運転員 ・作業責任者、管理的立場の方、運転支援スタッフ ・安全管理部門の安全管理者、安全スタッフ ・設備管理部門でプラント設計・保全担当の管理職、技術者 ・研究開発部門で化学プロセス担当の管理職、研究開発者	2日コース 9：00～16：00（予定）			・上田 邦治 氏 （千代田化工建設）
	①2025年11月25日(火)・26日(水)						
	リスクアセスメント 対面型	2日コース 9：00～16：00（予定）					
	②2026年2月2日(月)・3日(火)						
				対面型 出光興産㈱安全・技術研修センター	12名	66,000円／名	
NNS3	事故調査の 進め方講座	プロセス安全における事故調査は、事故の原因を特定し、再発防止策を講じるために不可欠なスキルです。 本講座では、OSHA PSM（RBPS）の事故調査の手法を参考にしながら、事故調査の基本的な進め方及び事故原因分析の手法FTAを学び、実際の現場で適用できるスキルを習得することを目的とし、受講者は、事故調査のプロセスを理解し、効果的な調査を実施するための知識と技術を身につけることで事故の再発を防止し、現場の安全性を向上させることが期待されます。 オリエンテーション、自己紹介と研修に臨む思い コマ1：事故調査の計画と準備 コマ2：事故調査のための各ステップ コマ3：事故分析手法FTAの実習 コマ4：事故報告書の要素	・運転部門の中核運転員 ・作業責任者、管理的立場の方、運転支援スタッフ ・安全管理部門の安全管理者、安全スタッフ ・設備管理部門でプラント設計・保全担当の管理職、技術者 ・研究開発部門で化学プロセス担当の管理職、研究開発者（その他候補者、推薦者）	1日コース 9：00～16：00（予定）			・竹内 亮 氏 （事故分析・コミュニケーション研究所代表）
		対面型 出光興産㈱安全・技術研修センター		20名	33,000円／名		
NNS4	制御系サイバーセキュリティ体験講座	製造業における制御系サイバーセキュリティは、工場システムのデジタル化に伴うサイバー攻撃のリスク増加や攻撃の高度化に対応するため、特有のセキュリティ対策が求められ、経済産業省のガイドラインに基づく法規制の遵守とサプライチェーン全体のセキュリティ強化が求められている。 特に製造業では、IoTや自動化の進展により、工場システムがインターネットに接続される機会が増加しています。これに伴い、サイバー攻撃のリスクも増大している。 サイバー攻撃は年々高度化・巧妙化しており、特定の工場を狙った標的型攻撃や、無差別な攻撃が発生している。これに対処するためには、製造現場の従業員のセキュリティ意識とスキルの向上が不可欠である。 しかし、現場の運転サイドでは、まだまだ認識度が浅いことより、まずはサイバー攻撃のリスクを知り、対応を考えるきっかけをつくる制御系セキュリティ講座として開講する。 講義1：講義サイバーセキュリティ講座の目的 講義2：制御系セキュリティとは 講義3：国内の動向・事例紹介等 講義4：制御系セキュリティガイドライン説明 演習1：愛用設備の説明(ミニプラント、DCS等システム、マニュアル類) 演習2：DCSの操作を習得 演習3：ミニプラント演習 机上演習1：サイバー攻撃が疑われる場合の演習	・運転部門の中核運転員 ・作業責任者、管理的立場の方、運転支援スタッフ ・安全管理部門の安全管理者、安全スタッフ ・保全担当の管理職、技術者 ・その他候補者、推薦者	1日コース 9：00～16：00（予定）			・企業講師
		対面型 出光興産㈱安全・技術研修センター		8名	33,000円／名		
NNS5	プロセス安全管理（PSM）レベルアップ講座	この講座では、PSM入門講座（dss*のプロセス安全管理（PSM）の14のエレメント）で学んだ基礎知識を基に、より実践的で高度なプロセス安全管理手法を学び、現場での適用力を強化します。プロセス安全管理の14のエレメントを深く理解し、実際の業務において効果的に適用できるようになることを目的とし、リスク評価や事故防止策の策定、緊急時対応の計画など、より高度なプロセス安全管理手法を習得し、現場での安全性を向上させることを目指します。 1日目 オリエンテーション コマ1：OSHA PSMとRBPS コマ2：プロセス安全情報とPHA コマ3：クイズタイム コマ4：安全な設備 コマ5：安全な作業 コマ6：ワークショップ コマ7：変更管理 コマ8：RBPS特有のエレメント 2日目 コマ9：安全な工事 コマ10：協力会社の安全 コマ11：クイズタイム コマ12：設備の健全性維持 コマ13：緊急時対応計画 コマ14：事故調査 コマ15：ワークショップ コマ16：従業員の参加 コマ17：監査 コマ18：機密保持	・運転部門の中核運転員 ・作業責任者、管理的立場の方、運転支援スタッフ ・安全管理部門の安全管理者、安全スタッフ ・設備管理部門でプラント設計・保全担当の管理職、技術者 ・研究開発部門で化学プロセス担当の管理職、研究開発者 ・その他候補者、推薦者	2日コース 9：00～16：00（予定）			・竹内 亮 氏 （事故分析・コミュニケーション研究所代表）
		対面型 出光興産㈱安全・技術研修センター		10名	66,000円／名		
CR出前	企業の要望に応えた出前講座	事業所内での出前講座の要望に応じて、対応可能な講座に関しては調整対応してまいります。 講師資機材等によりすべての講座を出前講座にすることは不可であるが、講座によっては出前講座が可能となるものもありますので、ご要望があればお申込みいたします。 （※お申込みいただきました事業所様と事前に内容・開催時期含め、打合せ調整させていただくことを前提とさせていただきます。）	企業要望に応じた対象者	都度対応			・企業講師、その他
				対面型・オンライン 申込企業が希望する場所 （出前研修）	12～16名	都度調整 ※通常講座受講料に準ずる	